

平成 26 年度香川県水産審議会 議事録

- 1 日 時 平成 27 年 3 月 26 日 (木) 10:00～12:00
- 2 場 所 香川県社会福祉総合センター 7階 第一中会議室
- 3 出席者 服部委員、宇都委員、大平委員、濱本委員、小川委員、橋田委員、多田委員、池本委員、山本委員、松本委員、青井委員

4 議事

香川県水産審議会条例第 7 条第 3 項の規定により、会長の服部委員が議長となり、議事を進行。

【協議事項】

- 1 香川県水産業基本計画の進捗状況と次期計画の策定について
議長 意見等なければ、各部会の報告に基づき、平成 27 年度事業を進めていただきたい。
全委員 異議なし。

- 2 その他
特になし。

【報告事項】

- 1 各部会における審議状況について
松本委員が担い手対策部会の概要について、山本委員が栽培・養殖・流通部会の概要について、濱本委員が漁港・漁場整備部会の概要についてそれぞれ報告。
議長 意見等なければ、各部会の報告に基づき、平成 27 年度事業を進めていただきたい。
全委員 異議なし。

- 2 平成 27 年度水産関係予算について
事務局が平成 27 年度水産関係予算について報告した後、意見交換に入る。
山本委員 地魚ニーズ調査事業について、地魚を使った惣菜に割引シールを貼るとのことだが、惣菜の範囲はどこまでを想定しているのか。予算が 16,000 千円から考えると相当なアイテム数になる。刺身等も対象になるのか。
事務局 値引き対象商品の線引きについてはスーパー等と協議をして進めていきたい。
山本委員 関係業者の意見をききながら、事業を進めていっていただきたい。
服部会長 委員の意見を参考に事業を進めていくようお願いする。

- 3 その他
漁業協同組合の組織強化について、事務局より説明。

濱本委員 漁業協同組合の合併が進んでいない。具体的に今後どのようにしていくつもりなのか。

事務局 JF 組織強化委員会と連携のもと進めていく。合併することで、事業規模が大きくなる
とこういうこともできるようになる等、合併後に期待が持てるような内容にしていかないと進んでいかないと考えている。またブロック会長、単協の方が合併の意志を持って
いただくことが重要と考えている。

現在、三豊地区については、検討が進んでおり、今後合併推進協議会を立ち上げ、市場の統合も含めて検討することとなっている。まずは優良事例を作り、他の地域へ広げていきたいと考えている。

また、経営基盤の強化は売れる水産物を作り、漁業者の所得を上げていくことと有機的に結びついていると認識しており、並行して検討していく必要があると考えている。

議長 この件について、委員から出された意見を参考にしながら、来年度の事業を進めていただきたい。

全委員 異議なし。

【諮問事項】

1 香川県漁業士の認定について

香川県指導漁業士認定に関する意見書及び身上調書により、候補者4名について事務局より説明。

議長 意見等がなければ、候補者全員を適格者として答申してよろしいか。

全委員 異議なし。

— 審議終了 —